

一般社団法人

香川県作業療法士会ニュース

発行：(一社)香川県作業療法士会広報部

事務局：〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁 62-1

四国医療専門学校 作業療法学科内 (一社)香川県作業療法士会事務局

E-mail:kagawa-ot@star.ocn.ne.jp

会長就任の挨拶



(一社)香川県作業療法士会 会長 前田 悠志

日頃から当会の事業運営に関して、会員の皆様にはご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。この度 5 月の役員改選に伴い、松本嘉次郎前会長から引き継ぐ形で前田悠志が会長の役職を務めさせていただくことになりました。改めてよろしくお願ひ申し上げます。

私が県士会活動に携わったのは、(現在名称はありませんが)福利厚生部の部員からのスタートでした。その後広報部、学術部、県医療介護総合確保基金委員会、こども委員会等を担当してきました。臨床は精神科作業療法ですが、県士会活動を通して見聞を広げることができ作業療法士の仲間も多く持つことができました。かけがえのない経験です。

五味先生、植野先生、松本先生と歴代会長から「香川の作業療法の源流」を引き継ぎ次の世代へつなげることは簡単なことではありませんが、理事の皆様はじめ多くの会員の皆様からご助言をいただきながら前へ歩を進めていきたいと思ひます。

皆様にとって作業療法の未来は、明るく見えているでしょうか。大丈夫かな…と不安な方が大きいでしょうか。未来のことはどうなるか誰もわかりませんが、未来を変えることはできます。作業療法のことは作業療法士が変えていくしかないと思ひています。他に誰が動いて助けてくれるでしょうか。当会は香川の作業療法士を元気に、また地域の皆様を元気にするべく活動をしています。会員の皆様もその一翼を担っています。3本の矢では折れないのなら、600本の矢となって進んでいく、そんな心意気で新しいことを考えています。

現状課題は多いですが、小さいことからひとつずつ課題解決に向けて取り組んでいます。

入会手続きの簡素化、SNSでの情報発信、見やすいHP、県士会活動の保険での保障、など良くなっています。また研修会の機会が多くなり(関係団体との協力体制や円滑化で関係団体主催研修会も増えています)、県や市町からの協力依頼も増えております。これは今まで培ってきた当会の実績と信頼性が大きくなった証拠だと思ひています。ぜひ部員委員として参画いただきたいですが、まずは県学会や研修会に参加いただくことが、当会が盛り上がることにつながり、学びにつながり、対象者(県民)に還元できますのでお気軽にご参加いただきたいと思ひます。

最後になりましたが、県士会事業で様々な部局に携わっている会員の皆様には大変お世話になっております。10年先、30年先の作業療法士につなぐ今の事業は必ずや土台となることでしょう。作業療法士になってよかった、とこれからも言ってもらえるように未来を見据えながら事業を進めていきたいと思ひますので、今後ともご助言やご協力をよろしくお願ひいたします。



No.60 医療法人社団以和貴会 いわき病院 シルバーデイケアきらく
作業療法士 三井 俊二 (4年目)

私は、10年会社員をした後、専門学校に入り資格取得、現在4年目の作業療法士です。現在は認知症デイケアに勤務して3年目になります。

朝の送迎、食事・机上課題・レクリエーションなどの活動、帰りの送迎を通じて「利用者様の認知機能・身体機能・日常生活能力を維持し、その人らしい時間を過ごしてもらおう」事を目標に、日々業務にあたっています。

認知症デイケアに配属された当初、「作業療法の決められた時間枠がない…作業療法士として何をしたらいいのか」と悩んでいた時期がありました。そんな私がちょっとした気づきを得たきっかけを紹介させてください。

「この手でもよう(字が)書けるやろ、よおけ(たくさん)練習したんやー」

それは、硬筆の活動中の利用者様(以降Aさん)の一言でした。Aさんは若い頃に事故が原因で利き手の手指の大部分を喪失してしまいました。しかし、そのような事故があったとは思えないほど自然に硬筆などの机上課題に取り組まれます。そんなAさんが初めて「練習した」という話題を挙げられたので、詳しく聞いてみることにしました。

Aさんは、手指を喪失した直後はかなり落ち込んでしまったようです。しかし、病院で「練習(リハビリ)」を続けていくことで書字や食事ができるようになり、立ち直ることができたと話してくださいました。続けて「人差し指をうまく使うんや」「おかげでごはん食べられるし、字も書ける」とAさんは嬉しそうに話されました。この話を聞いたとき、長い時間が過ぎた現在でも、リハビリがAさんの「生活の一部」となって活着ているのだと感じました。そして、Aさんにとってかけがえのないその力を活かし、継続できる環境づくりをする事が、私が作業療法士として出来る仕事の一つではないか、とも。

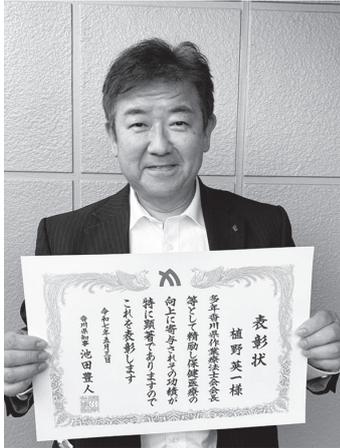
その考えのもと、Aさんに対して「膝の負担が少ない送迎車の乗降車の動作指導」「楽しく体を動かせるレクリエーションの設定」「手の機能を活かして楽しみを実感できる机上課題の提供」などの実践を重ねていく中で、作業療法士として出来る事というのは、必ずしも「作業療法の決められた時間枠」を必要とはせず、Aさんの生活の中にこそあるのだ、という事も感じました。

ただ、これらを継続していく事は、私ひとりでは実現不可能です。スタッフ全員で情報や意見の交換しながら、細かな調整や更新を行うことが必要です。リハビリでつながれてきたAさんの生活の質を、多職種で連携しながら守ることができるよう日々業務に務めております。

夏の夜は
まだ寝ながら
明けぬるを
雲のいづこに
月宿るうち

令和7年憲法記念日知事表彰受賞のご報告

穴吹リハビリテーションカレッジ 植野英一



このたび、香川県作業療法士会（以下、県士会）のご推薦をいただき、令和7年憲法記念日知事表彰という栄えある賞を賜り、誠に光栄に存じます。

松本嘉次郎前会長をはじめ、役員の皆様、会員の皆様に心より感謝申し上げます。

私は、平成17年4月から県士会の役員として10年以上（うち8年間は会長職）にわたり、会員の学術・技能の向上に努めるとともに、香川県理学療法士会および香川県言語聴覚士会と密な連携を構築し、本会の事業ならびに三団体による認知症予防や地域包括支援事業を展開して、県民の保健・医療・福祉の充実及びその向上に尽力して参りました。

この受賞は、個人名にはなっておりますが賞状の文書には「多年香川県作業療法士会会長等として精励し保健医療の向上に寄与されその功績が特に顕著でありますのでこれを表彰します」とあります。

これは、県士会の活動が香川県に評価されたものと受け止めており、そのことが大変嬉しく思っております。

今後も引き続き、本年5月から新体制となった前田悠志会長のもと、定款に謳われている目的に向けた以下の事業8項目を展開していただきたいと願うとともに、一会員として、一作業療法士として、これからも尽力して参りたい所存です。

- (1) 作業療法の学会、研修会及び講習会の開催
- (2) 作業療法並びに保健、医療及び福祉に関する調査研究
- (3) 作業療法に関する会誌等刊行物の発行
- (4) 地方公共団体等の行う保健・医療・福祉事業への協力
- (5) 作業療法士の卒前及び卒後教育に関する事業
- (6) 作業療法の普及啓発
- (7) 関連団体との提携交流
- (8) その他前述した目的を達成するために必要な事業

以上、ご報告いたしますとともに、会員の皆様には、引き続き、県士会の発展のためにご支援ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和7年7月吉日

第27回香川県作業療法学会の 開催についてのご案内

この度、香川県作業療法士会学術部の学会運営委員で協議を行いました結果、令和8年2月1日（日）に「第27回香川県作業療法学会」の開催を決定いたしました。開催方法としましては昨年度と同様の現地開催を予定しております。本学会が専門職としての知識研鑽と相互の情報交換、学術向上の場として会員の皆様が交流でき有意義な会と成り得るよう、運営委員一同、学会の成功に向けて努力いたしております。

ご多忙中とは存じますが、多数の皆様のご参加と演題のご応募を宜しくお願い申し上げます。

記

学会テーマ：「みんなの作業療法 ～かわることかわらないこと～」

開催日程：令和8年2月1日（日）時間詳細は未定。

開催場所：丸亀市綾歌総合文化会館アイレックス
(〒761-2405 香川県丸亀市綾歌町栗熊西 1680)

開催内容：一般演題、特別講演、基調講演(仮)

以上

<第27回香川県作業療法学会 運営委員会>
事務局 大倉 功将
医療法人西山記念会 MIRAI 病院
リハビリテーション部内
〒762-0023 香川県坂出市加茂町 633-1
E-mail : kagawaot27@yahoo.co.jp
※お問い合わせはメールにてお願いします

地域医療介護総合確保基金特設委員会 (福祉用具研修会)の紹介

かつが整形外科クリニック 樋本 英司

香川県作業療法士会では平成 27 年度から香川県地域医療介護総合確保基金を利用して、介護従事者へ向けた福祉用具を活用した研修会を実施しています。

介護の現場では慢性的な人材不足もあり、介護業務の身体的・精神的負担が大きいのが現状です。そこで①福祉用具を有効に活用した安全で質の高い介護技術を身に着ける。②介護従事者の腰痛予防も含め身体・精神的負担の軽減を図る。以上、2点を目的として研修会を開催しています。

介護従事者が現場で困っている内容を研修会のテーマとして「抱えない移乗技術」、「ベッド上のポジショニング」、「車椅子シーティング」などを中心におこなっています。リフトやスライディングボード・シートの使用方法、車椅子シーティングのクッションの選定など福祉用具の活用をおこなった研修会を年間 5 回開催しています。また令和3年度からは新たな試みで介護施設などに作業療法士が出向く「出張研修会」を開催、大変要望が多く現在は年間 6 回実施しています。

作業療法士の役割として福祉用具の活用方法や作業療法士の視点を伝えることで介護従事者の腰痛予防、また身体的・精神的負担の軽減に繋がれば幸いです。今後も地域での医療・介護連携に努めたいと思います。



運転と作業療法特設委員会の紹介

医療法人社団 和風会 橋本病院 宮川 友輔

日本作業療法士協会は、作業療法士による運転支援の推進を目的として、2016年に「運転と地域移動推進班」を立ち上げました。これを受け、香川県作業療法士会においても2019年に「運転と作業療法特設委員会」を設置し、活動を開始しました。

本委員会の主な役割は以下の通りです。

- ◆ 協会の取り組みに関する関連情報の県士会内への発信
- ◆ 県士会活動等の協会への情報提供
- ◆ 難渋事例や関係機関との連携、研修会等に関する協会への相談
- ◆ 支援に携わる作業療法士の質の向上（研修会・情報交換会・相談対応など）
- ◆ 高齢者・障害者等に対する交通安全や地域移動に関する活動への参加・協力
- ◆ 関係機関（都道府県警察 [免許センター等]、都道府県指定自動車教習所協会、JAF 支部等）との連携構築・強化

こうした役割のもと、委員会では香川県内における運転支援の現状や課題を把握し、必要な研修や啓発活動を継続しています。2019年には県内の運転支援実態調査を実施し、2021年には運転支援に関する意見交換会を開催しました。さらに2022年から2024年にかけては、基礎から実践までを含む運転研修を実施しました。また、運転支援に携わる作業療法士向けに、香川県内の自動車運転支援に関する情報をまとめたリーフレット作成を企画し、その基盤となるアンケート調査を実施しました。2025年には香川県作業療法士会のホームページ上で公表し、会員の意見やニーズを反映したリーフレットが完成できるよう取り組んでいます。さらに、2025年には高齢者の安全な地域移動支援の一環として、四国JAFとの連携構築を進めております。今後も香川県の作業療法士に役立つ自動車運転支援情報を発信していきます。

2019年県内の
運転支援実態調査
香川県作業療法士会
ニュース No.79



運転再開にあたっての
作業療法士の役割
香川県作業療法士会
ニュース No.80



自動車運転と法令
香川県作業療法士会
ニュース No.81



2024年
香川県内における
自動車運転支援
体制の現状



【各協会の運転支援情報】

- ・ 日本作業療法士協会/地域社会振興部地域事業支援課/運転と地域移動推進班
https://www.jaot.or.jp/living_environment_promotion/driving-committee/
※2026年4月改訂予定。改訂後、現内容は閲覧不可となる場合があります
- ◆ 押さえておきたい！運転再開支援の基礎（2021.3）
- ・ 日本高次脳機能学会/運転に関する神経心理学的評価法検討小委員会
<https://www.higherbrain.or.jp/research/driving/>
<https://www.higherbrain.or.jp/wp/wp-content/uploads/2023/10/5a2f3a7873f997be6f1f39c6053a4af0.pdf>
- ◆ 脳卒中、脳外傷等により高次脳機能障害が疑われる場合の自動車運転に関する神経心理学的検査法の適応と判断（2022.12）

制度対策部 県士会アンケート報告

今回のアンケートでは、県士会員の意向調査といたしまして、香川県で働いている 237 人の作業療法士の方に回答をいただきましたので、その内容の一部をご紹介します。

まずは、**県士会員**より頂いたお声の中で多かったものをご紹介します。

① 県士会に入会した動機や理由について教えてください (211 件)

- 1位 学校で勧められた 91 件
- 2位 職場で入会することが決まっている 64 件
- 3位 自己研鑽のため 56 件

「自分から！(^^)／」というよりは、「**周囲から…**」ということが多いようです。そういえば、学校の先生に何度も念を押された記憶があります。

② 県士会に入会して良かった点を教えてください (118 件)

- 1位 研修会・勉強会への参加やそれらに関する特典 32 件
- 2位 交流の場 18 件
- 3位 情報取得 14 件

「**研修会・勉強会**」、そしてそれを通じての「**横のつながり**」が押しポイントのようです。

勉強会のあとの、ちょっとした本音トーク、ためになるし共感できることが多いです。参加してみると新たな発見があるかもしれません

③ 県士会員増加を増やすためには今後どのような普及活動が必要だと思いますか？ (165 件)

- 1位 情報発信の強化 47 件
- 2位 年会費減額・支払方法・システムの改善 44 件
- 3位 研修会・活動の内容改善 28 件 ⇒QR コード

今の時代、**情報発信**は重要ですね。実は、**県士会のホームページが見やすくなった**ですので、ぜひ見てみてください！ (勉強会の情報が見やすくなった?)

年会費については、今後日本 OT 協会での大きな動きがあるそうです。次号以降にてご紹介させていただきます。



県士会HP

さらに、県士会に入られていない方からもご意見をいただきました。

① 県士会に入会しない理由について教えてください（複数回答可 26人）

- 1位 会費が高いから 18件
- 2位 県士会の活動がよくわからない 7件
- 3位 興味がないから 5件

②（元会員だったが退会された方）退会された理由について教えてください（複数回答可 17人）

- 1位 会費が高いから 12件
- 2位 家事と仕事の両立が難しくなったから 4件
- 2位 会費未納で退会となったから 4件
- 3位 興味がなくなったから 3件

③ どのようなメリットがあれば県士会に入会してみようかと思いませんか？

研修費の助成、会費の減額、会費引落し、精神科領域で臨床に即した研修の増加、興味を持てる内容や仕事に活かせる内容のセミナーの開催、オンライン勉強会の開催周知、仕事の斡旋など

県士会員の意見でも多かった年会費・研修会に関するものが多いようです。12000円と8000円の価値は…と考えさせられるお声です。

振り返り

まずは、今回のアンケートにご協力いただいた方に、この場を借りて感謝申し上げます。香川で働かれている作業療法士の方々の、県士会に対する思いを知ることができて、本当に良い機会を得ることができたと思っております。詳細については何かしらの形で公開させていただきますので、しばし時間を頂きたいと思っております。

アンケートでは入会動機の受動的要素、年会費への不満や情報発信不足など、多くの課題が浮き彫りとなりました。アンケートを頂けなかった作業療法士の方々の意見はさらにシビアであることでしょう。今後、県士会として多くの作業療法士に入会して頂くためには、これらの課題をクリアしていく必要があります。

次号ではこれらの課題をどう分析し動いていくのか、理事会の意見を掲載できたらと思っております。

制度対策部

自動車運転支援に関するアンケート調査報告書

(一社) 香川県作業療法士会 運転と作業療法特設委員会 委員長 宮川 友輔

令和7年7月吉日

日頃より(一社)香川県作業療法士会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、運転と作業療法特設委員会では、脳卒中等により自動車運転支援を必要とする方々に対する支援方法および関連情報を整理・共有することを目的に、香川県内の病院・施設を対象としたアンケート調査を実施いたしました。本調査結果は、今後作成を予定している自動車運転支援パンフレットの基礎資料として活用する予定です。

つきましては、下記のとおり調査結果をご報告申し上げます。

調査の目的	香川県内における自動車運転支援体制の現状を調査し、今後作成予定のパンフレットや研修会テーマ検討の参考とするため。
調査期間	14日間 令和6年10月20日(月)-令和6年11月2日(土)
実施対象	香川県内の病院・施設に勤務する作業療法士
調査方法	Googleフォームを用いたWeb アンケート調査
調査結果	回答数: 21 病院・施設
結果	本調査の結果、パンフレットに掲載すべき情報の優先順位は、以下の通りであった。「法律・適性相談」、「自動車運転評価を行っている病院」、「神経心理学検査」、「障害のある方に対応可能な自動車教習所」、「福祉改造業者・自助具」の順であった。
考察	自動車運転の支援体制構築においては、「自動車評価を実施している医療機関」、「免許センター」、「自動車教習所」、「福祉車両改造業者」との連携が重要である。今後作成を予定しているパンフレットでは、これらの関係機関の情報や役割を重点的に取り上げ、より充実した内容とすることが求められる。
添付資料	自動車運転支援に関するアンケート調査結果の詳細データ

以上

設問1. 所属施設で自動車運転再開を希望される方に対する支援体制はありますか？

「自動車運転再開支援の体制がある」と回答した施設：12か所

「自動車運転再開支援の体制がない」と回答した施設：9か所

設問2. 所属施設では自動車運転再開に向けた神経心理学的検査を実施していますか？

「自動車運転再開に向けた神経心理学的検査を実施している」と回答した病院・施設：12か所

「自動車運転再開に向けた神経心理学的検査を実施していない」と回答した病院・施設：9か所
※設問1の自動車運転再開支援の体制がない回答した病院・施設も含む**設問3. 実施している神経心理学的検査にチェックをつけて下さい。(複数回答可)**

※設問2で自動車運転再開支援の体制がある回答した病院・施設のみ

Table1. 県内で実施している神経心理学検査

検査	実施している病院・施設	自動車運転評価 参考値 (参考文献によって異なる)
TMT	10	TMT-A 可：42秒以下、境界：55秒以上、不可：55秒以上 TMT-B 可：148秒以下、境界：149-180秒、不可：181秒以上
MMSE	8	可：25点以上
Kohs	8	可：IQ90以上
Rey複雑図	4	模写 可：34点以上、境界：34-29点、不可：28点以下 即時再生 可：23点以上、境界：22-14点以下、不可：13点以下
SDSA	4	可：SDSA 運転合格予測式 > 運転不合格予測式
WMS-R	4	可：言語性対連合 I 粗点 17点以上
BIT	4	可：各下位検査がカットオフ値を下回らない、140点以上
BADS	4	可：動物園地図 2、3点以上
CAT	2	Visual Cancellation 不可： [図形1] 51秒以上、[図形2] 71秒以上、[数字3] 101秒以上、[仮名か] 151秒以上 Auditory Detection 不可：的中率 60%以下 Position stroop 不可：111秒以上
かなひろい	2	可：ヒット数÷[ヒット数+ミス数] 85%以上
HDS-R	1	可：21点以上

※省略

TMT: Trail Making Test, MMSE: Mini-Mental State Examination, Kohs: コース立方体組み合わせテスト
Rey 複雑図: Rey 複雑図形検査, SDSA: Stroke Drivers Screening Assessment, WMS-R: Wechsler Memory Scale - Revised
BIT: Behavioural Inattention Test, BADS: Behavioural Assessment of the Dysexecutive Syndrome
CAT: Cognitive Assessment Tool, かなひろい: 仮名拾いテスト, HDS-R: Hasegawa's Dementia Scale - Revised

[参考文献]

- 1) 武原 格. 脳卒中後の自動車運転再開. Jpn J Rehabil Med 2020 ; 57 : 117-120.
- 2) 蜂須賀研二. 高次脳機能障害の自動車運転再開とリハビリテーション1. 金芳堂: 84.
- 3) 加藤貴志. 運転再開に向けた井野辺病院の取り組み. 作業療法ジャーナル 2012 ; 46 : 490-494

設問4. 所属施設では、自動車を使用して乗降練習を実施していますか？

「自動車を使用して乗降練習を実施している」と回答した病院・施設：7か所

「自動車を使用して乗降練習を実施していない」と回答した病院・施設：14か所

設問5. 所属施設では自動車改造・自助具の紹介はされていますか？

「自動車改造・自助具の紹介をしている」と回答した病院・施設：2か所

「自動車改造・自助具の紹介をしていない」と回答した病院・施設：19か所

設問6. 所属施設にドライビングシミュレーターは設置していますか？

「設置が有り」と回答した病院・施設：2か所

「設置が無し」と回答した病院・施設：19か所

**設問7. 所属施設では入院患者様に対してOTが自動車教習所に
同行して運転技能評価(ペーパードライバー教習)を実施していますか？**

「運転技能評価を実施している」と回答した病院・施設：5か所

「運転技能評価を実施していない」と回答した病院・施設：16か所

設問8. これから作成するパンフレットの内容についてのご質問です。 運転支援をする際に役立つと思われる情報が以下にございましたらお選びください。	
1. 県内の自動車運転評価を行っている病院の情報	13 件
2. 自動車運転に必要な神経心理学的検査	13 件
3. 障がいのある方に対応可能な自動車教習所の情報	13 件
4. 運転支援に関する法律の情報	12 件
5. 適性相談の情報	11 件
6. 自助具の情報	3 件
7. 福祉改造乗車の情報	2 件
設問9. 今後、研修会を実施するにあたり取り上げてほしいテーマがございましたら 選択をお願いします（複数回答可能）	
1. 自動車運転評価	16 件
2. リハビリ方法の紹介	13 件
3. 県内の免許センターでの自動車運転適性検査、適性相談の情報	13 件
4. 県内の自動車運転評価を行っている病院の事例	10 件
5. 自動車運転支援に関する法律	9 件
6. 自動車教習所の評価	9 件
7. 免許返納した方の代替手段、支援、サービス方法	9 件
8. 福祉改造の評価・情報	4 件

会長便り



会長 前田 悠志

今回から紙面をいただき、会長自ら新しい情報で優先的に、会員の皆様にお伝えしたいことを掲載するかたちになりました。ぜひご一読ください。

- ①令和7年11月7日（金）～9日（日）、高松で第59回日本作業療法学会が開催されます。機器展示ブース（あなぶきアリーナ香川）の1区画を「香川県作業療法士会」が出展します。全国のOTへのおもてなしの気持ちをこめた交流の場として考えています。ぜひ当日お越しください、また参画いただけるボランティアスタッフ（県士会員）も募集中です。希望者は県士会事務局へお問い合わせください。（詳細は学会HPをご覧ください）
- ②令和7年12月14日（日）レクザムホールにて第8回香川県地域包括ケアシステム学会が開催されます。今回は当会と県ST士会が担当でテーマは「Kagawaをつむぐ ～地域包括ケアとリハビリテーションの未来～」を予定しています。この学会は行政機関、関係団体、大学等様々な地域を支える立場の方々が参集し学び合う先進的な学会となっています。参加費は無料です。担当する立場として県士会員の多くの参加が期待されています。いろいろな角度から地域支援を考えられますので、OT専門分野問わずご参加ください、よろしく願います。（詳細は学会HPをご覧ください）

■(一社) 香川県作業療法士会ニュース No.90■

編集長 木村勇介（滝宮総合病院）

編集委員 福田かぐや（吉峰病院）

塩田未紅・安藤瑞基・大林美紀（松井病院）

村上太気（いわき病院） 宇佐川雄太（滝宮総合病院）